

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内 TEL 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578 ホームページアドレス http://kameyama-shakyo.or.jp メールアドレス aiai@kameyama-shakyo.or.jp 平成25年10月1日 社会福祉法人



#### 主な記事

●ふくし最前線! 亀山市立加太小学校特集	1・2ページ
●社会福祉協議会活動紹介コーナー	3ページ
●Let's ボランティア!(南京玉すだれ はり香一座、亀山おもちゃの病院)	4ページ
●地区福祉委員会活動紹介(泉ヶ丘・富士八イツ地区コミュニティ)	5ページ
●お知らせ	6ページ

「社協だより」は、 市民の皆様からい ただいている会費 で発刊しています。





亀山市には、私たちの生活の身近なところで活躍している、福祉に関わる方々がたくさん存在します。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

# 地域を活かした学び 主体的な学び

福祉協力校指定校

# 亀山市立加太小学校

亀山市内には16の小中高校が「福祉協力校」に指定され、福祉やまちづくりに関わる活動をそれぞれ行っています。

加太小学校では、地域と密接に 協働しながら運動会や秋祭り、農 業体験などの行事を行い、また、 高齢者や外国籍の方々との交流等 を通じて、学ぶ力とともに思いや りや助け合いの心を育んでいます。

今年は社協が行う被災地応援プログラム「ひまわりプロジェクトinかめやま」に参加し、地域の方々と一緒にひまわりの花を地域いっぱいに咲かせました。



加太小学校

加太小学校の詳しい活動内容についてはこちら↓

http://www.kameyama-mie. jp/~kblog/kabuto/

# 代表インタビュー 橋爪 慶介 校長

#### Q 学校と地域との関わりは?

A 平成24年4月からコミュニティ・スクールを開始し、地域をあげての学校づくりに取り組んでいます。加太地区でも少子化が進んでいるので、地域の力をお借りして、いろいろな人とふれ合ったり、多様な体験を積んだりすることは、とても大切なことと思っています。

#### Q 子ども達の変化は?

A ずいぶん活発になりましたね。 あいさつもできるようになりました。子どもと教師の関わりが最も 大切ですが、学校の中だけでは人 と関わり合う機会が少ないんです よね。その点、こうやって地域の 中で多くの人と関わることによっ て、自分の思いを表現できるよう になってきました。体験活動を通 して、成功体験だけでなく、失敗 体験をすることも大切だと考えて います。

また、縦割り班で取り組むこと によって、リーダーシップや思い やる心、素直に聞き入れる態度な



ますつかみ(つむぎ川遊び)の様子

どが育ってきています。

#### Q ひまわりプロジェクトへの 参加は?

A この取り組みについてもコ ミュニティ・スクール活動の一環 として行いました。学校の花壇だ けでなく、地域の花壇にも子ども 達と地域の方々が一緒に種をまき、 水やりをしました。被災地のため に自分達にできることは限られて いますが、今回のプロジェクトに あたって地域の方が看板を作って くださったり、地域全体で盛り上 げてくださったりしていますので、 来年以降も自治会等と連携しなが らさらに各地区へと広げていきた いと思っています。将来的には、 こういった取り組みをきっかけに 被災地の学校と交流ができればい いですね。

#### ひまわりプロジェクト in かめやまとは



平成23年春、東日本大震災により被害を受けた方々を元気づける ため、塩害に強いとされるひまわりを被災地に咲かせる取り組みが 行われました。

この取り組みをきっかけに、亀山市社会福祉協議会では、今年度 新たにこのプロジェクトを立ち上げ、市内の小中高校や地域の方々 の協力を得ながら、花壇や畑にひまわりを咲かせ収穫する取り組み を行っています。

収穫された種は今秋、メッセージを添えて被災地へ贈る予定です。

# 社会福祉協議会活動紹介コーナー

#### 福祉ボランティア基金街頭啓発

 $6/10 \cdot 6/14 \cdot 6/17$ 

亀山高等学校、徳風高等学校の協力のもと、市内2か所の商業施設(亀山ショッピングセンターエコー、オークワ亀山店)において、「福祉ボランティア基金」の街頭募金を実施しました。

お寄せいただいた募金は、亀山市内で活動する 様々な福祉活動、ボランティア活動の財源に充て られます。



高校生達による募金活動

## 障がい児社会見学

6/15



コンペイトウ作りを体験

市内在住の障がい児とその家族を対象に、見聞 を広め交流を図ることを目的に「障がい児社会見 学」を行い、98名が参加しました。

今回はあいにくの雨天でしたが、「コカ・コーラウエスト株式会社京都工場」での工場見学、「コンペイトウミュージアム やお」でのコンペイトウ作り体験を楽しみました。

# 福祉委員研修会

新任研修 7/22·7/26 認知症講座 8/19·8/22

亀山市では全25地区に福祉委員を配置し、地域 での見守り活動や福祉活動を行っています。

今回、皇學館大学の板井正斉准教授を講師に招き、71名の新任福祉委員が「ご近所の見守りについて」をテーマに研修を行いました。

また、認知症サポーター養成講座では、52名が 参加し、認知症についての理解を深めました。



板井准教授による講演の様子

### 夏休み中学生福祉体験教室

7/29~8/2



リフト付車両の体験をする生徒

夏休みを利用して、亀山中学校、中部中学校、 関中学校から延べ135名の生徒が市内17ヶ所の福 祉施設において体験を行いました。

参加した生徒からは、「はじめはお互いに緊張している感じがしたけど、僕たちが笑うと自然とお年寄りの人も笑ってくれた。」と、施設での体験や交流を通じて福祉に対する理解を深めました。

# H'Sボランティア!

#### ~ボランティアセンターに登録している団体を順次紹介します~



# 南京玉すだれ はり香一座

♪「あっさて、あっさて、さては南京玉すだれ!!」 玉すだれ、皿回しを通して、人と人の輪を笑顔で繋 げていきます。大きな声で□上、体全体で玉すだれ や皿を操り、元気一杯楽しみたいと思います。

- 一緒に演じて貰える方を募集しています。
- コツさえ分かれば、むずかしくありません。
  - 一緒に楽しみましょう! (代表 大橋 たつ子)

# 亀山おもちゃの病院

壊れたおもちゃが捨てられる前に、おもちゃを直して再 利用出来る場があればと思い、活動を始めました。

おもちゃの修理を通じて、親子に物の大切さと資源の有 効利用を啓発すること、親子との交流を通じて、地域活動 に参加することに生きがいを感じています。

お子さん達からの「ありがとう!」の声に、思わず笑顔がこぼれます。

毎月第3土曜日の午前10時から午後3時まで、あいあい2階生きがい工作室にて開院していますので、壊れたおもちゃがあればぜひご相談ください。(代表 植田 惠昭)



#### あなたもボランティアをしませんか?

亀山市ボランティアセンターでは、ボランティアの発掘・養成並びに「ボランティアグループ」の紹介、 斡旋、活動支援を行っています。

色々なボランティアの中から、あなたにピッタリのボランティアを始めてみませんか?

ボランティアにご興味がある方、これから始めたい方は当センターまでお気軽にお問い合わせください。

お問合せ:亀山市ボランティアセンター ☎82-7985

また、『ボランティア相談』を下記の日時で、毎月行っています。日頃の活動のお悩みや、ボランティアについての相談に応じます。

お気軽にご相談ください。

ところ: 亀山市総合保健福祉センターあいあい 2階 ボランティアルーム

と き:毎月 第2金曜日 午後1時30分 ~ 4時まで

亀山市ボランティアセンター登録団体の一覧表を、

HP(http://www.kameyama-shakyo.or.jp)に載せています。是非ご覧になってください!



「福祉委員制度~ふれあい福祉ネットワーク活動~」を推進しています

# 地区福祉委員会の まずの ままれて ツ北区 コミュニテ 活動を紹介します

## 「男のやさしい料理教室」で地域のつながりも強く



#### 地域の特色

関地区の北部の住宅地で、地区内に関文化交流 センターなどの公共施設が立地しており、また、 関の象徴の1つである「関富士」が一望できるな ど、自然環境も豊かな地域です。

地域住民が世代をこえて交流し、一緒に楽しむ 行事が多く、また、月4回の防犯パトロールをは じめ、防犯や防災に関する取り組みも盛んです。

#### 福祉委員会(地域福祉の推進役)

構成メンバー: 福祉委員、民生委員児童委員、コミュニティ役員

#### 活動内容

泉ヶ斤・富十八イツ地区では、年間5回にわたって「男 の料理教室」を開催しています。

高齢化が進んでいる中、「年をとっても自分のことは自 分でできるように」と、普段から地域行事等を通じて繋が りが深い男性メンバーが15名ほど集まり、自分達で料理 教室を始めたのがきっかけです。

専門の講師を招かず、自分達でレシピを考え、自分達の ペースで行うところが醍醐味であり、男性ならではの豪快 な料理を楽しんでいます。



自分達のペースで料理を楽しむ男性参加者



豚肉のニンニク焼きなど、レパートリーは様々

参加者からは、「最初に作ったチャーハンは不味かった が、4年経った今では美味しく作ることができるように なった。」との声があり、「家庭で今まで消極的だった食 事の片づけなどが自然にできるようになったことで、夫婦 円満につながっている。」と、日常生活にも役立てながら 和気あいあいと活動しています。

泉ヶ丘・富士ハイツ地区では、他にも「福祉施設訪問手 伝い! 「ごきぶりダンゴ作り! 「三世代ふれあい交流会! 「親子ふれあい会」など、様々な行事を通じて高齢者の見 守りと子育ての手伝いに気を配りながら、地域住民のつな がりをつくる活動を行っています。

# ●第9回亀山市社会福祉大会を開催します。

亀山市内における社会福祉功労者の顕彰と記念講演会を行います。 今回は住民主体の助け合いによる地域づくりについてご講演いただきます。 一般の皆さまのご参加もできますので、ぜひご来場ください。

と き: 平成25年11月7日(木) 13:00~ 受付 13:30 開会 と こ ろ: 亀山市中央コミュニティセンター(亀山市東御幸町63) 記念講演: 14:20~ 「ご近所パワーで助け合い起こし(仮題)」

講 師:住民流福祉総合研究所所長 木原 孝久 氏



# ● あいあい祭り2013~であい ふれあい ささえあい~を開催します。

市民の健康増進と福祉に対する理解を深め交流を図ることを目的に、今年も「あいあい祭り」を開催します。舞台発表や模擬店、展示コーナーなど盛りだくさんの内容で、景品付きのスタンプラリーも行います。皆様のご来場をお待ちしております。

と き: 平成25年10月20日(日) 9:45~14:00 ところ: 亀山市総合保健福祉センター「あいあい」

亀山市立医療センター



昨年度の様子

# ● みえます きてます 小地域の時代 第7回 全国校区・小地域福祉活動サミットinみえが開催されます。

小・中学校区あるいは自治会などの日常生活圏域で、地域福祉活動に取り組む多様な主体が一堂に会し、実践交流を通じて活動の輪を広げ、日々の活動の質を高め合います。

皆様の地域の福祉活動の参考となるので、ぜひご参加ください。

と き: 平成25年11月28日(木) と こ ろ: 三重県総合文化センター

参加費:1人3,500円(※交流会は別料金)

お問い合わせ先:「全国校区・小地域福祉活動サミットinみえ」実行委員会

現地事務局:三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁日131 (三重県社会福祉会館)

TEL:059-227-5145 FAX:059-227-6618



# ●平成25年度社会福祉協議会会費にご協力ありがとうございました。

皆さまにご協力いただいた会費は市内の地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。 今後ともご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 善意 🕡 寄 付 (平成25年6月11日~平成25年9月10日まで)

櫻井 潤一 様 花しょうぶまつり実行委員会 様 子育ての宝箱託児ボランティアー同 様 亀山高校三九会 様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

#### **亀山市の福祉指数**(平成25年9月1日現在) -

市総人口 49,900人 6

65歳以上の人口 11,804人 (男性 5,195人 女性 6,609人)

世帯数 20.243世帯

18歳以下の人口 8,881人 (男性 4,500人 女性 4,381人)

高齢化率 23.7%

印刷

株式会社 一誠堂

リサイクル適性 A 再生紙を使用しています。